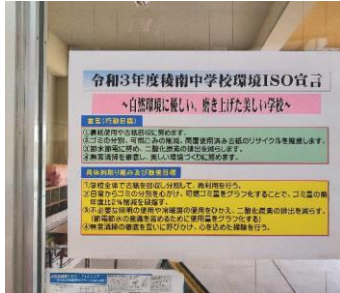


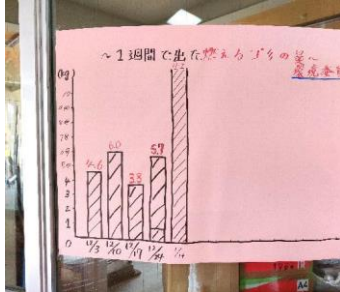


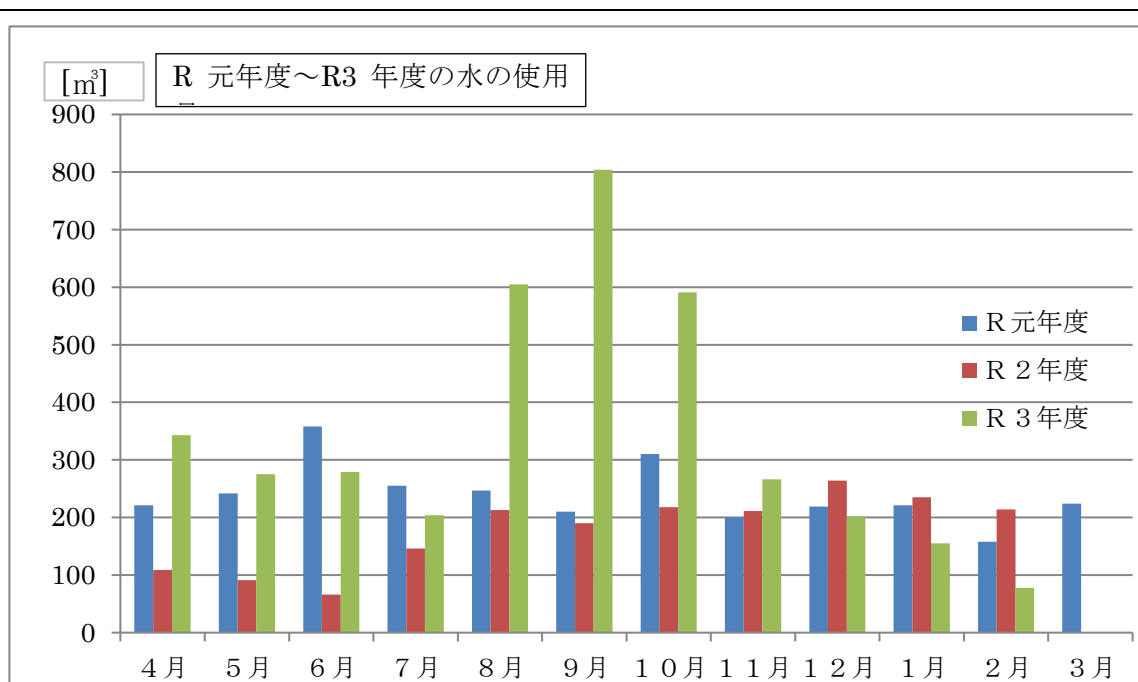
令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

< 天草市立稜南中学校 >

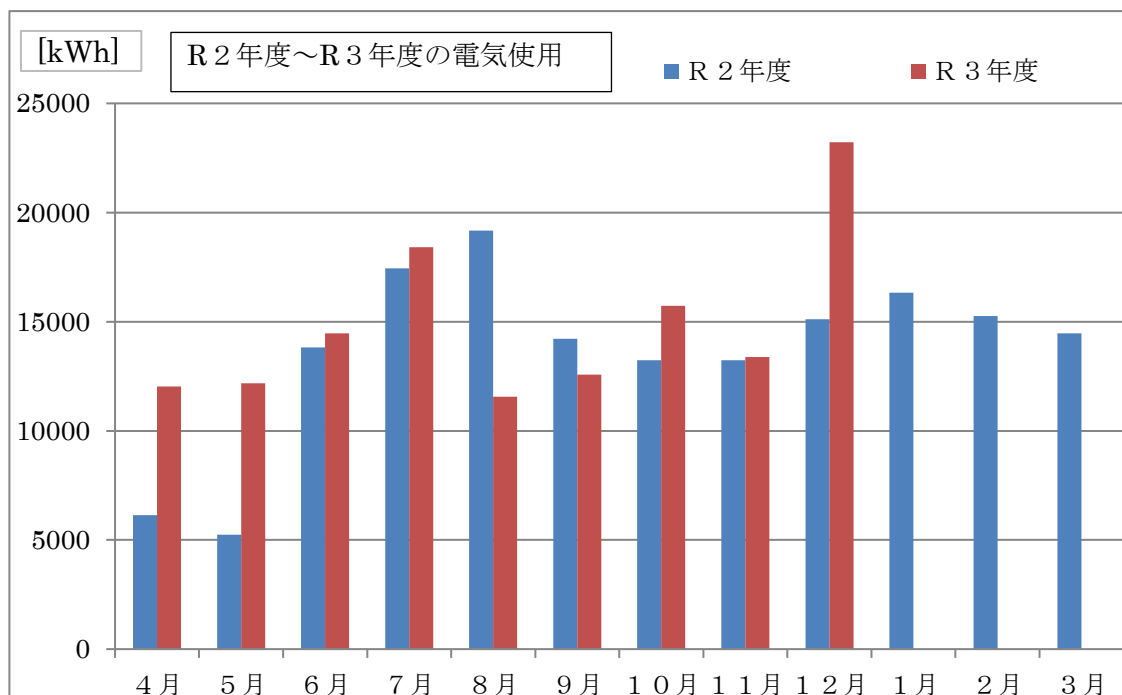
1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>前年度までの稜南中学校の環境 ISO 宣言に修正を加え、以下のように本年度の環境 ISO 宣言を設定し、宣言書の掲示や環境委員会の活動を通して、前項の取組を呼びかけた。</p> <p><稜南中環境 ISO 宣言></p> <ol style="list-style-type: none"> ①裏紙使用や古紙回収に努めます。 ②ゴミの分別、可燃ごみの削減、両面使用済み古紙のリサイクルを推進します。 ③節水節電に努め、二酸化炭素の排出を減らします。 ④無言清掃を徹底し、美しい環境づくりに努めます。
行動	 回収した古紙の分別作業  ゴミの分別作業  可燃ゴミ量のグラフ化	<p><再生紙の回収と再利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教室には古紙回収ボックスを設置し、クラスで配布されたプリント類の余りを捨てずに保管するようにした。 ・回収した古紙は、毎月実施される環境委員会の活動の際、持ち寄って、裏紙使用や再生紙として利用されるよう分別作業を行った。 ・裏紙が利用できる紙は、印刷室のボックスに保管し、職員も心がけて印刷用紙として利用するようにしている。 <p><会議資料のペーパーレス化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の資料はこれまで毎回多くの紙を使い資料を作成していたが、紙の節約と可燃ゴミの減量化を図るため、本年度からできるだけ資料は電子化してパソコン画面上で確認できるようにした。 <p><ゴミの分別作業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日に各クラスの環境委員が、各クラスのゴミを持ち寄り、不燃ゴミ・可燃ゴミ・資源ゴミに分別する作業を行った。 ・分別されたゴミのうち、可燃ゴミについては計量を行い、全校にゴミ減量の意識をもってもらうために、隔週ごとのゴミ量をグラフ化して掲示した。 <p><節電・節水の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電や節水については、毎月の環境委員会で各クラスの取り組みの反省を出し合い、翌月の目標を決めて、帰りの会などでクラスの生徒に呼びかけを行うようにしている。 ・毎月の使用量をグラフ化し、掲示することで、節電・節水の意識を高めるようにした。

記録



・水の使用量は、4月～11月の期間はいずれの月も使用量が前年度を上回っていた。特に8月～10月は以上に使用量が増えたので、市に依頼し調査をしてもらった結果、水道管で漏水していることが分かった。11月に点検と対策が行われた結果、12月以降は元年度及び2年度の使用量を下回るようになった。



・R 2年度の4月・5月は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため休校になっていたため、電気の使用量が少なかったが、6月から学校が再開し、使用電力量がそれなりに増加した。R3年度の各月の使用電力量の増減は、それぞれの月の気候の違いでエアコンの使用量が変化したことが影響しているものと思われる。特にエアコン作動中も換気のため窓をある程度開けたままにしているため、全体的に電気の使用量が増えているものと思われる。

	<div><div><div>[kg]</div><div>可燃ゴミ量の変化</div><table><caption>令和3年度</caption><thead><tr><th>月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr></thead><tbody><tr><td>可燃ゴミ量 (kg)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>17</td><td>34</td><td>17</td><td>20</td><td>37</td><td>0</td><td>0</td></tr></tbody></table></div><div><p>・上記グラフには、本年度9月～1月のゴミ量を表した。グラフからは10月と1月にゴミの量が多くなっているが、10月は行事が多く紙の使用量が多かったこと、1月は大掃除後のゴミと習字で出たゴミが加わったことが多くなった原因と考えられる。ゴミの減少を心がけるよう全校に働きかけていきたい。</p></div></div>	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	可燃ゴミ量 (kg)	0	0	0	0	0	17	34	17	20	37	0	0
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
可燃ゴミ量 (kg)	0	0	0	0	0	17	34	17	20	37	0	0															
見直し	<div><p>・毎月生徒会活動として環境委員会で各クラスの取り組み状況を反省報告し、各クラスの反省や全体の反省を検討し、翌月の目標を設定している。クラスから出た反省や翌月の目標は、クラスの環境委員がクラスに持ち帰り、短学活等で他の生徒たちに連絡した。</p><p>・ゴミ収集のとき、分別が十分できていないときは、環境委員長や副委員長が校内放送を使って、全校生徒に注意喚起を行った。</p></div>																										

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・節水については、歯みがきでコップを使用したり、掃除でもバケツを使用したりして水の出っぱなしをできるだけ減らすよう心がけていた。 ・節電については、教室を使わないときの消灯、掃除の時間の消灯やエアコンの不使用を全体に呼びかけたので、高い意識で実行することができた。 ・ゴミの分別作業や計量作業には、生徒たちが熱心に取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の掃除については、雑巾を使った掃除を避けようとする生徒が若干目立つので、拭き掃除の大切さを理解させ進んで取り組もうとする心情を育てる工夫が必要だと感じた。 ・少し寒かったり暑かったりすると、すぐにエアコンを頼ろうとする生徒が増えてきているので、節電の大切さを伝える工夫をする。 ・コロナ感染対策でエアコン使用時も窓をある程度開けたままにしなければならず、電気使用量の増加につながる点が課題と考えられる。 ・計量したゴミ量のデータは、紛失しないようにきちんと管理する。